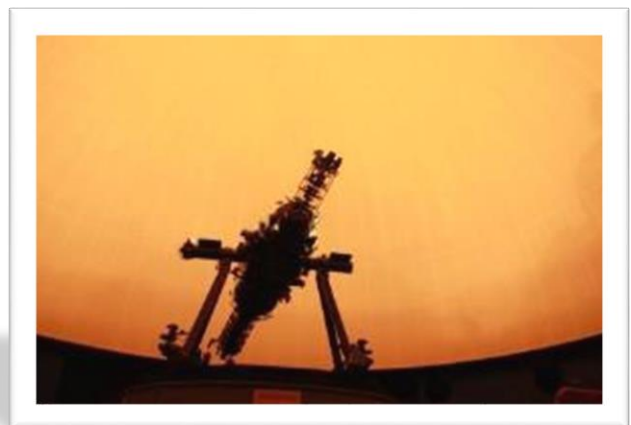
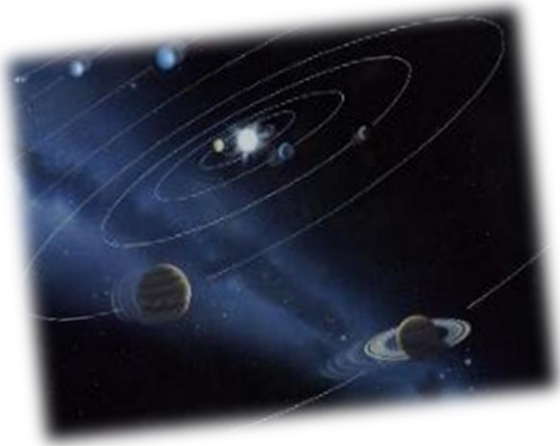


中央公民館



サイエンスキッズ

◆目的◆ 小学生を対象とした理科教室を実施。実験や工作を通じ、発見する喜びや考える力を育む。

◆講師◆ 科学読物研究会 坂口 美佳子 氏

◆プログラム及び受講者◆

実施日時	タイトル	対 象	受講者／定員
8月10日（土） 午前10時～正午	「紫外線ってなんだろう～UVチェック ストラップをつくろう～」	小学3～6年生	19人／40人
8月10日（土） 午後2時～4時		小学1・2年生	19人／40人

◆まとめ◆

サイエンスキッズは毎年夏休みに実施しており、子どもたちの自由研究などの助けとなっている講座である。講座では、紫外線、UVや赤外線の説明の後に、部屋の照明を消してお金や商品券、パスポート、栄養ドリンクなどの日常にある物にブラックライトの光をあて変化を予想しながら観察した。その後、分光器とUVストラップを作成した。

【サイエンスキッズ】



こども天体教室

◆目的◆ 小学生とその親を対象とし、プラネタリウムや天体望遠鏡を使用した天体学習を行い、宇宙や星空に対する参加者の関心を深める。普段は味わえない学びを親子で共有することで、参加者の心を豊かにし、充実した日々の生活を送る基礎とする。

◆講師◆ 元朝霞第一中学校教諭 戸鹿野 宏道 氏、朝霞第四中学校教諭 大澤 一之 氏

◆対象/定員◆ 小学生とその保護者/15組30人

◆プログラム及び受講者◆

実施日時	タイトル	受講者
12月13日(金) 午後6時～8時	冬の星座と、木星や月を観察してみよう	14組28人

◆まとめ◆

当日は曇天のため、時間を変えて何度か観測を試みたが、残念ながら月や星を見ることはできなかった。雨ではなかったため、望遠鏡でスカイツリーをとらえたり、プラネタリウムの番組を観覧するなど別メニューでの対応となった。

講師の戸鹿野先生による「冬の星座と、木星や月を観察してみよう」の講義の説明は大変わかりやすく、また、大澤先生による星座早見盤の見方と、秋の星座の見つけ方についてもわかりやすい解説をしていただき、こども達は天体を身近に感じることができた。天体望遠鏡の観測に対する期待が大きく、スカイツリーを見つけたことや、講師の先生の話も好評で、講座全体として楽しんでいた。



【プラネタリウム内での講義】



【天体望遠鏡】



さわやか健康教室

◆目的◆ 健康づくりに対する意識が高まる中、健康づくりに関する身近なテーマを学習する。

◆プログラム及び受講者◆

回	実施日時	タイトル／講師	受講者／定員
1	6月25日(火) 午前10時～ 11時00分	ろっ骨エクササイズで身体機能を整えよう ／日本総合健康指導協会公認 カキラリスト 小布施 千鶴子 氏	14人 ／15人
2	10月11日(金) 午前10時～ 11時30分	かんたん！ズボラ筋トレーニング ／関節トレーニング認定インストラクター 小澤 美智子 氏	15人 ／15人

◆まとめ◆

1回目は日本総合健康指導協会公認のカキラリストの小布施千鶴子先生を講師にお招きし、ろっ骨を中心に全身の関節へとアプローチして機能解剖学等の身体の動きから機能改善を目指す体のケアの仕方を学んだ。参加者からは「エクササイズの後で身体の動きが軽くなった」という感想があった。

2回目は関節トレーニング認定インストラクターの小澤美智子先生を講師にお招きし、インナーマッスルである「ズボラ筋トレーニング」を実践した。腰痛などを改善し、快適な日常生活を送っていただけるよう、ストレッチなどの実践方法を学んだ。参加者からは「普段あまり動かさない筋肉に意識がいった」という感想があった。

【第1回 ろっ骨エクササイズで身体機能を整えよう】



【第2回 かんたん！ズボラ筋トレーニング】



悠 ゆ う 大 学

◆目 的◆ これからの生活を見据えた年金などの社会保険、退職金、税金の仕組みのほか、資産寿命の延伸や相続・贈与・終活などの概要について学び、セカンドライフを楽しく豊かな生活になることを目指す。

◆タイトル◆ 「これからの知っておきたいお金の話」

◆対象／定員◆ 市民／30人

◆プログラム及び受講者◆

回	実施日時	タイトル／講師	受講者／定員
1	12月10日(火) 午後2時～4時	開講式 / 朝霞市教育委員会教育長 二見 隆久(代読)	18人 ／30人
		豊かな老後のために・セカンドライフの収支 ／金融経済教育推進機構 芳賀 良 氏	
2	12月17日(火) 午後2時～4時	資産寿命の延伸・資産形成支援制度・ セカンドライフの税金 ／金融経済教育推進機構 芳賀 良 氏	18人 ／30人
3	12月24日(火) 午後2時～4時	公的保険・贈与・相続・金融トラブル ／金融経済教育推進機構 芳賀 良 氏	19人 ／30人
		閉講式(修了証授与) ／朝霞市教育委員会教育長 二見 隆久	

◆まとめ◆

受講者は、身近な金融の話を真剣に聴講しており、毎回の受講終了後の質問には数人待ちが出るほど熱心に質問をしていた。

アンケートには、「3回ではなくもっと受講したかった」、「身近な金融の大切なヒントや相続に関することが学べた」などの、好評な意見が多かった。講座満足度においては、8割以上の方が「とても満足」、または「満足」と回答しており、満足度が高い講座となった。

【悠ゆう大学】



成人教養講座

◆目的◆ 成人を対象に、講義を通じて学ぶことの大切さや楽しさを確認するとともに、参加者の交流を支援する。

◆プログラム及び受講者◆

回	実施日時	タイトル／講師	受講者／定員
1	11月26日（火） 午後2時～3時30分	体験型！スマホ入門 ／スマホアドバイザー	16人 ／20人
2	2月5日（水） 午後2時～4時	筆ペンや小筆にチャレンジ！ ／社会教育指導員 勝良 ひとみ 氏	19人 ／20人

◆まとめ◆

第1回はデジタル格差社会を念頭に、スマホの入門講座を開催した。講師陣はスマホアドバイザーのメインの講師に加え、サポート役の方も来ていただき、初めてスマホに触る方でも安心して受講できるよう配慮した講座となった。受講者からも好評を得ることができ、満足度は8割を超えた。

第2回は昨年度に実施して大変好評で開催を求める声も多かった、筆ペン講座を開催した。冠婚葬祭など、筆ペンを使う機会が多いこともあり、今回も定員を上回る申し込みがあり、そして講座への満足度の高さも感じられた。

【第1回 体験型！スマホ入門】



【第2回 筆ペンで自分の名前を書いてみませんか】



人 権 教 育 講 座

◆目 的◆ 人権に対する正しい理解と認識を深め、生活の中にある人権問題への意識を高める。

◆実施日時◆ 1月31日(金) 午後2時～3時

◆タイトル◆ 「暮らしの中の人権」

◆会 場◆ コミュニティセンター第1・第2集会室

◆講 師◆ 埼玉県人権・男女共同参画課講師 持田 倫武 氏

◆対 象◆ どなたでも

◆定 員◆ 50人

◆受講者数◆ 32人

◆まとめ◆

今年度の人権教育講座は、埼玉県人権・男女共同参画課が実施している「人権・同和問題啓発講師」の派遣を依頼し、埼玉県内で中学校教諭、小学校長として勤務された経験をお持ちの持田倫武さんに講演していただいた。

「暮らしの中の人権」と題し、こどもの人権、同和問題、インターネットによる人権侵害など、日々の生活の中にある幅広い人権課題について、パワーポイント資料に基づきわかりやすいお話をしていただいた。

平日の実施であったためか、募集人数が定員まで集まらなかったが、アンケート集計結果では、講座内容の満足度について、回答した22人中17人の方が「とても満足」「満足」と回答した。また、「講師の説明がわかりやすかった」、「もっと学習時間が欲しかった」という記述もあり、講座満足度は非常に高かった。

「暮らしの中の人権」



プラネタリウム一般投映

◆目的◆ 毎週日曜日、季節に応じたプラネタリウム番組を投映し、天文への関心を高める。

◆対象/定員◆ どなたでも/各回90人

◆観覧者合計◆ 令和6年度観覧者 2,784人
 内訳：子ども 1,202人
 大人 1,582人

◆プログラム及び観覧者◆

回	実施期間	タイトル	観覧者数
1	【前年度継続】 令和6年3月10日(日) ～5月26日(日)	春番組 「発進! タムタム号 宇宙と美星の宇宙探検」	436人 こども 187人 大人 249人 (令和6年度分)
2	6月2日(日) ～8月18日(日)	夏番組 「宇宙を見上げてごらん ～夏の夜空と彗星の話～」	728人 こども 322人 大人 406人
3	9月1日(日) ～11月24日(日)	秋番組 「そんな月夜のものがたり」	697人 こども 291人 大人 406人
4	12月1日(日) ～令和7年2月23日(日)	冬番組 「スペースアドベンチャードリム ～銀河の彼方へ～」	682人 こども 305人 大人 377人
5	令和7年3月2日(日) ～5月25日(日) 【次年度継続】	春番組 「太陽、知りたいようっ! 春の星座と太陽の科学」	241人 こども 97人 大人 144人 (令和6年度分)

◆まとめ◆

毎週日曜日、定員90人、投映回数1日3回(午前11時、午後1時30分、午後3時)で実施した。例年、季節ごとに番組を切替えて投映している。楽しく観覧していただけるように番組を投映する前に季節の星座などの解説を行っており、好評である。

プラネタリウム番組ポスター



【春番組】

【夏番組】

【秋番組】

【冬番組】

プラネタリウム団体投映

◆目的◆ 幼稚園や保育園などの団体からの依頼により投映と解説を行い、天文への関心を高めるとともに、プラネタリウムの活用を図る。(投映番組は実施期間中の一般投映と同じ)

◆対象／定員◆ 概ね30人以上の団体／90人

◆観覧者合計◆ 令和6年度観覧者 24団体 779人
内訳：子ども 627人
大人 152人

◆期間（番組）別観覧者数◆

実施期間	団体数	観覧者数			
令和6年4月3日（火） ～5月26日（日）	1団体	21人 子ども	18人	大人	3人
6月2日（日） ～8月22日（木）	7団体	199人 子ども	139人	大人	60人
9月1日（日） ～11月24日（日）	8団体	263人 子ども	227人	大人	36人
12月1日（日） ～令和7年2月23日（日）	5団体	194人 子ども	168人	大人	26人
令和7年3月2日（日） ～5月25日（日）	3団体	102人 子ども	75人	大人	27人

◆団体別観覧者数◆

団体種類	団体数	観覧者数			
小学校 市内 2団体 市外 1団体	2団体	127人 子ども	115人	大人	12人
中学校 市内 1団体 市外 1団体	1団体	16人 子ども	11人	大人	5人
保育園（家庭保育室含む） 市内 11団体 市外 1団体	13団体	367人 子ども	313人	大人	54人
幼稚園 市内 1団体 市外 1団体	2団体	109人 子ども	96人	大人	13人
その他（放課後児童クラブ含む） 市内 2団体 市外 4団体	6団体	160人 子ども	92人	大人	68人

◆まとめ◆

団体からの依頼により日曜日と休館日を除く希望日時を考慮のうえ主に火曜日と木曜日に実施した。投映依頼のあった団体としては小学校が最も多く、続いて保育園からの依頼が多かった。また、小学校からは施設見学を含めての申し込みも見られた。今後も団体からの日程や人数の希望を十分考慮のうえ、団体投映を実施していきたい。

プラネタリウム特別投映

◆目的◆ 学校の長期休み期間中や県民の日などに実施する。投映を増やすことで、親子で楽しむ機会の提供とする。（投映番組は実施期間中の一般投映の他に、季節の神話も投映）

◆対象／定員◆ どなたでも／各回90人

◆観覧者合計◆ 令和6年度 観覧者 795人
内訳：子ども 360人
大人 435人

◆開催日及び観覧者数◆

名 称	実施日	投映回数	観覧者数
春休み特別投映	4月4日（木）	2回	14人 こども 7人 大人 7人
ゴールデンウィーク特別投映	5月3日（金）	2回	35人 こども 16人 大人 19人
夏休み特別投映	7月25日（木）・8月1日（木）・8日（木）・15日（木）・22日（木）	各2回 全10回	180人 こども 100人 大人 80人
彩夏祭特別投映	8月3日（土）・4日（日）	各2回 全4回	239人 こども 110人 大人 129人
サマーフェスティバル特別投映	8月24日（土）	1回	69人 こども 15人 大人 54人
文化祭特別投映	11月3日（日）	3回	73人 こども 31人 大人 42人
県民の日特別投映	11月14日（木）	2回	60人 こども 32人 大人 28人
クリスマス特別投映	12月22日（日）	3回	67人 こども 26人 大人 41人
冬休み特別投映	令和7年 1月7日（火）	2回	33人 こども 11人 大人 22人
春休み特別投映	令和7年 3月27日（木）	3回	25人 こども 12人 大人 13人

◆まとめ◆

特別投映は、学校の長期休み期間中や彩夏祭、サマーフェスティバルなどのイベントに合わせてプラネタリウムに親しんでもらうことを目的として実施した。

今後もプラネタリウム観覧を通して天文に興味をもっていただけるよう事業を継続し、ホームページ、X（旧 Twitter）などを活用し、多くの方に観覧していただけるよう啓発していきたい。

第 3 9 回 サマーフェスティバル

◆目 的◆ 公民館利用団体が日ごろの学習成果を発表し、相互の親睦を深めるとともに、地域の方々との交流を図る。

◆実施日時◆ 8月24日(土) 午前10時～午後5時(展示・コンサートなど)
(午後5時～午後7時30分 ダンスパーティー)
25日(日) 午前10時～午後4時

◆主 催◆ サマーフェスティバル実行委員会
中央公民館利用団体連絡協議会
中央公民館・コミュニティセンター

◆対 象◆ 公民館利用団体・市民

◆期間内入場者数◆ 延べ3,112人(2日間)

◆参加団体◆

・展示部門	12団体
・行事部門(模擬店・体験講座等)	11団体
・発表部門	18団体
・鳴子踊り	1団体

◆まとめ◆

第39回サマーフェスティバルには、延べ42団体が参加した。令和元年度の延べ45団体、令和5年度の延べ43団体とほぼ同数の団体が参加した。一方で、来館者数は3,112人で前年度と比較し約800人減の減となった。これは、初日に天気が不安定であったことや近隣の町内会などのイベントと日程が重なったことが一因と考えられる。

参加団体にとっては、日頃の学習・活動成果を発表することにより、構成員の数を増やしていくきっかけとなる重要なイベントであるとともに、公民館にとっては、多くの方々に公民館事業に対する理解を深めていただくいい機会であると捉えており、今回、昨年に引き続き実施したスタンプラリーや1階ロビーでのコンサートなどにより、こどもから大人まで幅広い年齢層の来場者に公民館を身近に感じていただく絶好の機会となった。

ポスター





開会式



模擬店



展 示・模擬店



体 験



体 験



展 示



2日目オープニング
(鳴子演舞)



コンサート



コンサート



ロビーコンサート



ロビーコンサート



コンサート、プラネタリウム

第39回
サマー
フェスティバル

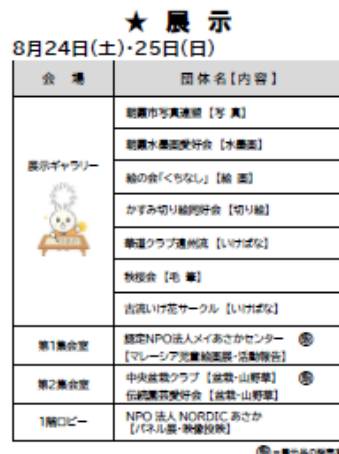
令和6年度

8月24日(土)
場所: コミュニティセンター
午前10時～午後5時
(閉会式: 午前10時～)

ダンスパーティー
午後5時～午後7時30分

8月25日(日)
午前10時～午後4時
(閉会式: 午後4時～)

会場: 総務市中央公民館・コミュニティセンター
主催: サマーフェスティバル実行委員会
中央公民館地区連携協議会
総務市中央公民館・コミュニティセンター



8月24日(土)

《花せっけん作り》《かざぐるま作り》

2 階
ロビー

学習室
1・2

《おばけやしき》
朝顔おやこ劇場
 午前10時30分～午後4時
 100円
 満席後導入

レフ
リエーション
ホール

《体験》

①あさかユニカル愛好会 午前10時～
②若葉フォークダンスサークル 午後0:15～
③社交ダンス愛好会 午後4時～

申込方法 直接会場へ

和室

《こども茶会》
福の会

時 間 午前10時30分～お茶会がなくなり次第終了
参 加 費 500円 (お茶・お菓子)
市見方法 直接会場へ

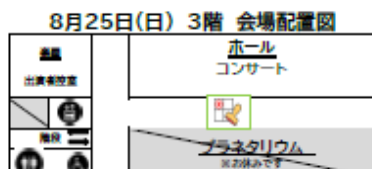
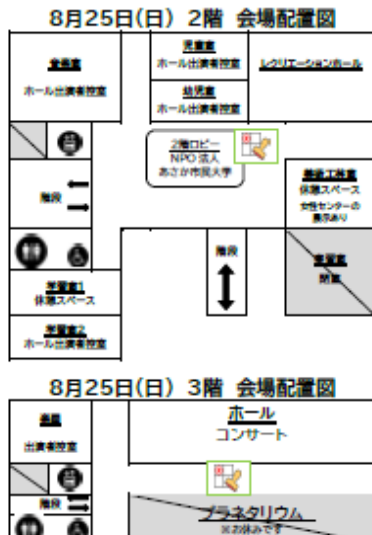
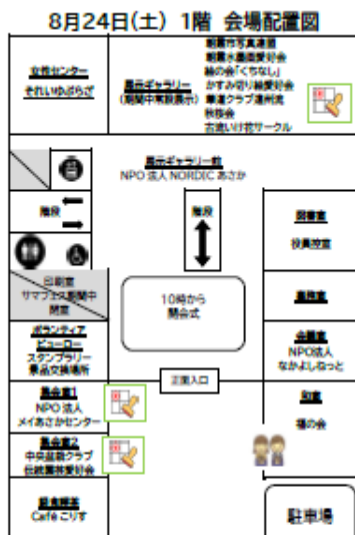
集会室1

8月25日(日)

2 階
ロビー

《花せっけん作り》
《かざぐるま作り》
NPO法人 あさか市民大学

1 階



8月24日(土)			
※	開始時間	団体名	内容
1	午前10時30分	コーラスべーふのりかご	コーラス
	午後1時15分	バツオーネ	ピアノと歌
3	午後1時00分	吟遊会	朗読
	午後1時30分	観劇マンドリンアンサンブル	マンドリン
	午後2時00分	ポリナチデラ・ギター	ギターアンサンブル
	午後2時30分	8センチウクレレ	大団奏

8月25日(日)

※	開始時間	団 体 名	内 容
1期	午前10時10分	asaka華道部	椅子舞踊実演
	午前10時35分	新藤町児童合唱団	コーラス
		新藤児童声楽団	新藤町合唱コンクール
	午前10時55分	キッズ Dance Pop	ヒップホップダンス
	正 午	新藤 NPOぶいメいあさかセンター	歌と楽器実演
3期 ホ ール	午後2時0分	新藤児童声楽団	歌と楽器実演
	午後2時40分	Utsuno	フラダンス
	午後3時00分	新藤町児童合唱団	歌と尺八
	午後3時20分	俊徳洋楽	ダンス
	午後3時40分	新藤フルートクラブ	フルート実演
	午後2時00分	フラ・オハナ・ムアツァⅠ	フラダンス
	午後2時20分	フラ・オハナ・レフ	フラダンス
	午後2時40分	フラ・オハナ・ヒキナヒ	フラダンス
午後3時00分	フラ・オハナ・ムアツァⅡ	フラダンス	



8月24日(土)午前10時～
午後3時 80円～150円
定 費 10円～380円

NPO 法人
なかよしねっと

1階 会議室

8月24日(土)
午前11時30分～
飲み会など 自由メニュー
定 費 1500円
朝霞おやこ劇場

2階 会議室

無料

プラネタリウム
サマフェス特別放映

8月24日(土) 午後3時～4時30分

中央公民館展示コーナー

- ◆目的◆ 日ごろの公民館活動における学習成果の発表と、サークル及び利用者相互のコミュニケーションを図る。
- ◆実施期間◆ 通年（適宜、作品を入れ替え）
- ◆まとめ◆ 中央公民館利用団体連絡協議会加入団体による展示コーナーとして実施している。



【朝霞市写真連盟による展示】

